

憐憫

A 型に O 型か、それとも B 型か
僕の身を切る君の笑い
正直じゃなかった魂にこそ分かりそうなものだったが
今は既に 3 日後で
夏も既に傾いて
僕の隣でのみ君は静かだった
確かに何かが吹き飛ばされた

血が混じり合うことを想い
首を激しく振る僕と
思いがけぬ情緒に身を固くして
言葉を失った君と
いずれも己への憐憫と知れた時
再び会うことは不可能となった

今さらの如く思い出すのは
15 の時に書き残した一言

(1983.8.10)